

令和元年度 第1回 日進市地球温暖化対策地域協議会 議事録

- 日 時 令和元年9月19日(木)
午前10時から午前11時40分
- 会 場 市役所本庁舎4階 第1会議室
- 出席委員 原理史(会長)、森下英治(副会長)、伊藤進、米森清紀、内藤正勝、
小竿重一、高木伸治、岩元裕満、小林成昌、黒田純男、山本裕子、
浅井弘視、出原伸平
- 事務局 牧智彦(市民生活部長)、加藤慎司(環境課長)、石川博之(環境課主幹)、片岡
麻里(環境政策・ESD推進係 係長)、松田涼輔(環境課環境政策・ESD推
進係主事)
- 傍聴者 なし
- 内 容

開会

出席委員の確認13名中13名の出席。日進市地球温暖化対策地域協議会要綱第7条の
成立要件を満たしていることを確認

議題1 令和元年度事業計画進捗状況について

事務局：会長に議長をお願いいたします。

会 長：それでは、令和元年度事業計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いしま
す。

(事務局より説明)

委 員：わいわいフェスティバルなどのイベント参加人数は、どのようにして算出している
のですか。

事務局：わいわいフェスティバルに関しては、二つの会場の入り口でパンフレットを配布し
ており、その配布実績と、各ブースやイベントで参加人数が分かるものの実績、参
加団体数などからのべ数で推計をしております。

委 員：わいわいフェスティバルの出展団体数が50ほど減っておりますが、原因はなんで
すか。

事務局：今回から、SDGsをテーマとして強く押し出し、募集を行いました。募集の際の
出展条件に、SDGsの研修や各ゾーン会議への出席があり、そのあたりが原因に
なった可能性はあります。

会 長：実績の中に、熱中症対策の講演会があります。これは、地球温暖化対策の中で「適
応策」にあたるものであり、実行計画(区域施策編)にも含まれており、今後この
協議会でも「適応策」の話も対象になるため、委員のみなさんもお承知おきくださ
い。

2 令和2年度事業提案について

会 長：他にないようですので、次の議題に移りたいと思います。それでは、令和2年度事業提案について事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

委 員：広報誌を活用した地球温暖化対策の普及啓発ですが、全市民に対して啓発を行うべきという主旨であり、予算の都合もあると思うので立派な冊子でなくとも、印刷したものを綴じたような冊子でもよいので多くの市民に配布することが大事だと思います。

会 長：冊子か紙面か、費用対効果などを事務局には検討していただきたいと思います。

事務局：検討します。

委 員：夏休み中の講座について、応募数は多数で、抽選の結果参加できなかった方も多いということで、予算の都合もあるとは思いますが、講座日数を増やしたり、会場を大きくしたりして、参加したいという方をなるべく参加できるようにしてほしいです。

会 長：参加者のニーズを上手に把握して、検討をしていただきたいと思います。

事務局：検討します。

委 員：緑のカーテンの評価基準はどこですか。

事務局：写真をつけていただくため、上手に作れたかを評価しますが、それだけではなく設置の効果があつたか、緑のカーテンを楽しめたかなど複数の観点があります。

委 員：他の市町では、緑のカーテン設置前と設置後で電気の検針票をつけてもらうような取り組みがあります。綺麗に作ることも大事ですが、緑のカーテンはあくまでも手段であつて目的ではないことを伝えていったほうが良いと思います。

会 長：緑のカーテンの審査は会長と副会長で行っていますが、個人的には効果の部分を重視した採点をしています。緑のカーテンの目的を整理する良い機会だと思います。

委 員：緑のカーテンにより冷房の使用を抑えるなど省エネ効果の呼びかけとともに、熱中症患者が多くなっているため、「適切な冷房を使用しましょう。」などの呼びかけも一緒に行う必要があると思います。

委 員：過去に緑のカーテン設置に関する効果のデータがあつたように思います。

会 長：環境省の古いデータであつたかと思います。委員のご意見は、緑のカーテン事業を実施する際に、緑のカーテン設置の効果や目的を伝えているかという点だと思います。緑のカーテン育成講座では、そういった内容は伝えていますか。

事務局：はい。担当からそういった説明をしました。

副会長：緑のカーテンコンテストの趣旨というものが、地球温暖化に対する効果を重視しているのか、緑のふれあいなどに重視を置いているのかで方法も変わってくると思います。検針票をつけてもらっても、電気代が減った要因がどこまで緑のカーテン設置による効果か分からないため、目的をしっかり伝えたほうが良いと思います。

会 長：一度実施の趣旨を検討していただければと思います。

事務局：緑のカーテン事業は、現在評価について温暖化対策の観点と緑のふれあいの両方の観点があります。目的をまずしっかりと示すとともに、評価の際にもその点が明確になるようにアンケート等を工夫していこうと思っています。

委 員：若い世代への環境教育に興味を持ってもらえる取り組みは重要だと考えています。夏休みの講座も、知り合いの家族が講座に当選せず残念がっていました。特に、夏休み中だと学校に提出する夏休み課題にも使えるため、多くの人に参加できるようにしていただきたいです。

会 長：今年度の事業は、若い世代への働きかけはかなりされていると思います。その中で多世代連携型の事業があり、リタイア世代の方と高校生が交流する場を設けています。若い世代への環境教育は重要ですので、事務局には講座などいろいろと検討していただければと思います。

委 員：重点施策と具体的内容の部分について、事業に対する目標が「会員数増加」や「参加者の増加」となっていますが、具体的な数値目標が入れられる部分は入れていき、協議会内で達成したか進捗状況を確認するべきだと思います。

会 長：次回の協議会で、今年度の事業実績が出てくるので、その評価を行いたいと思います。

会 長：事業提案のご連絡はいつでもよいですか。

事務局：次回の当協議会では、令和2年度の事業提案をさせていただきますので、ご意見をいただきましたら、事業案作成時の参考にさせていただきます。

3 その他について

会 長：続きまして議題3のその他について、事務局から説明をお願いします。

(事務局より説明)

会 長：説明があったように、次回は年度末に今年度の事業結果と来年度の事業計画について話合うということです。他に何か意見のある委員の方はいらっしゃいますか。ご意見や質問はないようですので事務局にお返しします。

閉会

事務局：それでは、令和元年度第1回日進市地球温暖化対策地域協議会を閉会します。本日はおつかれさまでした。

<午前11時40分終了>